

2021 年度 奨学生入学試験

国 語

(試験時間 60分)

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、29ページあります。
- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 4 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。
 - ① 試験コード欄・座席番号欄
試験コード・座席番号(数字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
 - ② 氏名欄
氏名・フリガナを記入しなさい。
- 5 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答番号	解 答 欄									
10	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- 6 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 7 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

第1問 次の文章を読んで、後の問い(問1～11)に答えなさい。

人間にとって「知」とは何だろうか。専門知と集合知の問題を考えるためには、まずそこから始めなくてはならない。

二一世紀は「知識社会」だという声がある。二〇世紀までは土地、労働、資本などが富をうむ源泉だったのだが、今後は知識が鍵をにぎるといふ。【a】、たとえば投資金融で利益をえようとすれば、各企業の製品開発力をたたく把握し、成長の可能性についての確な判断ができなくてはならない。そのための評価表のようなものが、「知識」と見なされているのである。具体的にいふと、評価表の各項目をなす断片的データのようなのが「情報」であり、この情報(データ)群を体系的にまとめあげたのが、いわゆる「知識」だと常識的に定義されているのである。

(A) こういう「知識社会」ないし「情報社会」のとらえ方は、近年、非常にひろく受け入れられるようになった。その内容はおよそ次のようなものだ。評価の基準をきちんと定め、第三者からなる委員会などの機関をつくり、できれば数値指標にもとづいて正しく評価し結果を公表すれば、世界はますます透明になっていく。ネットは情報共有のために不可欠な重要手段であり、ネットを活用すれば、幾らでも知識を入手することができる。あとは市場での競争にまかせれば、ものごとは万事うまく進んでいくはずである……。

いかなる知識も情報も、こうしてグローバルな経済秩序のなかにたちまち組みこまれてしまう。換言すれば、うまく組みこめないような知識や情報は、あつても無きものとされてしまうのである。この種の考え方が、市場原理を奉じる新自由主義的なグローバルリズムの^イチヨウリユウによつてもたらされたことは、今さら言うまでもない。いまや、企業活動だけでなく、行政も、教育も、医療も、福祉も、文化芸術などの活動も、ことごとくそういう社会的なメカニズムの一要素と見なされるようになったのだ。

【b】、知識や情報とは本当にそういうものだけなのだろうか。こういった知のとらえ方は、いかにも実践的で効率的なもののように見える。だが実は、^B生命体としての人間の活動における知の役割というものを、根本的なところでとらえ損なっているのではないか。少なくとも、市場原理にもとづく「知識社会」や「情報社会」というイメージは、あまりに一面的すぎはしな

いだろうか。

断つておくが、ここで市場原理を頭から否定するつもりはない。^(注2)マルキシズムにもとづく計画経済のほうが、市場経済よりすぐれているなどというのは懷古趣味である。情報学的に考えると、つねに変動するローカルな状況をふまえず、一部のエリートがイデオロギーにもとづいて大風呂敷をひろげる計画経済は、ほぼ間違いなく失敗する。企業や個人などの経済主体がローカルな最適化をおこなつてグローバル市場に自由参加するほうが、一部のエリートが上意下達で国家規模・世界規模の最適化を押しつけるより、たぶん苦しむ人は少なくて済むことだろう。

にもかかわらず、である。ただ外部委員会をつくつて分厚い評価書類をつみあげれば、それで世界が透明に見えてくるというのは、あまりに安易で愚劣な思考ではないのか。正確に言えば、評価書類の内容は一つの解釈であり、対象のある側面に光をあてる以上のもではない。評価自体はひとまずソ^(ロ)ンチョウすべきだとしても、それだけを「真理」として信じこむのは新たな権威主義にすぎないのである。

その証拠に、もし米国流の外部評価のシステムが正しく機能していたなら、いつたいなぜ二〇〇八年のリーマンショックは起きたのか。投資銀行リーマン・ブラザーズの倒産は、恐ろしい地球規模の金融危機をひきおこした。米国だけでなく、日本の経済もまだこのショックから立ち直っていない。周知のようにリーマンショックの原因は前年のサブプライム・ローンつまり米国の住宅バブルの破綻である。

常識的に考えれば、大して収入もなく信用度の低い労働者たちの持ち家願望に乗じて住宅ローンを押しつけ、そのローンサイ^(イ)ケンを証券として売りさばくなどというのは、詐欺まがいのビジネスである。いつか破綻するのは目に見えていたのではないか。

そういった危ない証券に、米国の一流格付け会社は非常に高い評価点をあたえていた。この種の証券は高い価値があるというのが、貴重な「知識」だったのだ。もちろん、格付け会社の社員が怠けていたわけではない。彼らはみな秀才で、難しい数式を駆使し、大量のデータを用い、コンピュータをブン回して「厳密で公正な評価作業」をおこなっていた。だが実は、彼らのしていたことは、ウォール街にたむろする一握りの投資家たちの金銭欲を一時的に満足させるための、^(c)歪んだ資料づくり以上のもの

ではなかったのである。

リーマンショックによる不況の影響は、この国でもひきつづき深刻である。もうそろそろ、米国流の知識社会の幻想から覚めてもよい頃なのだが、どうもわれわれは未だに欧米信仰にとりつかれ、あまりに想像力が欠けているのだ。

こんなことをのべると、^(D)グローバル・ビジネス推進派から守旧派扱いされるかもしれない。言うまでもないが、米国流のオープンな市場主義を全面否定するのは間違いである。この国には伝統的に内向きで閉鎖的な風土があり、とかくムラをつくって仲間内に都合のよい談合をしたがる。なにも原子力ムラだけの話ではないのである。【c】、情報公開や外部評価の意義を叫ぶことの意義は十分あるのだ。

しかし、忘れてはならないことは、情報公開や外部評価をご託宣^{イ!}のように信奉するのは、狭いムラの内部規律を後生大事に信奉するのと、まあ **X** だということである。手間も費用もかかるのは困るけれど、ムラの^(ニ)ヘイガイが深刻な場合には効果的な場合もある、というくらいに考えておいたほうがよい。

言いかえると、公開された情報にもとづいて外部機関が評価作業をおこなっても、非合理的な悲劇がもたらされる可能性は十分にある。リーマンショックなど単なる一例にすぎない。完全なデータと論理にもとづく評価などありえない以上、当然のことである。

いちばん問題なのは、客観的な世界が存在し、しかるべき評価作業をおこなえば透明度がまして、世界の様子がわかってくるはずだ、という単純な思いこみである。この思いこみは、客観的な世界の様子を記述する知識命題が存在し、それらを上手にあつめて記憶し編集すれば世界をより深く正確に知ることができるようになり、さらには世界を操作できるようになる、という常識的な考え方につながっている。

だが、^(E)実際には知識命題とは、それを学校で習おうとネットから検索してこようと、所詮は誰がおこなった一種の解釈にすぎないのではないか。とすれば、所与の知識命題がネットに海のようにあふれることで、かえって判断が混乱し、思考力が衰える恐れもあるだろう。もっと大切なのは、手際よく所与の知識命題をあつめてくるのではなく、自分が生きる上でほんとう

に大切な知を、主体的に選択して築き上げていくことのはずである。

この点で、近年の若い学生たちの様子について、一言ふれておくことにしよう。IT文明のなかで育った彼らは、いつもモバイル情報機器を身につけている。上手にネットを利用し、あちこちから知識命題を探してくるのは得意中の得意だ。いわゆるコピーレポート（コピー&ペーストの処理で、ネットのなかの断片的文章を繋ぎ合わせて作成するレポート）なら、たちまち要領よくでっち上げてしまうだろう。

それはこちらもわかっているので、先手を打って、検索エンジンの役に立たない問題を出すことにする。「情報伝達とコミュニケーションとはどう違うか」などといった、正解が一つとはかぎらない、自分の頭で考えなくてはいけない問題である。すると、「わかりません」とすぐギブアップする者もいるが、結構いろいろ考えて、自分なりの面白い答を書いてくる者も少なくない。このあたりは、やはり若さの輝きだ。

だが問題は、興味深い答を書いているにもかかわらず、「これはあくまで自分の個人的意見にすぎません」などと注記している答案が多いことである。中には、「こんなことを考えたって、何になるのかわからない」と率直な感情をぶつけてくる答案もある。

たぶん、彼らにとって授業とは、既存の権威ある知識体系を単にわかりやすく伝授してくれるものなのだろう。彼らはそういう教育ばかりうけてきたのである。ほんとうの学問とは、既存の知識体系を丸呑みにすることではなく、批判的に解釈することから始まるのだが、そういう作業は非効率な時間つぶしのように思っているのではないか。

受験勉強のハイガイだといえばそれまでである。だがそれだけではない。知識社会というお題目のもとに、所与の知識命題の効率のよい処理だけが知的活動であるという幻想を植えた大人たちにも責任はあるのだ。

肝心なことは、ここでいう知識命題とは、自分の行為や生活から練り上げた体験知ではなく、天下りにあたえられ、自分が手をふれて変更することなど不可能な「所与の知」だという点である。両者のあいだには本質的ちがいがあある。この相違を理解するには、母語と外国語の学習の相違を考えればわかりやすい。

母語を学ぶ幼児は、周囲にある事物を名指ししながら、何とか家族とコミュニケーションをとろうと努める。そして生活のなかで試行^(ホ)サクゴをくりかえしながら、次第に事物の概念と音声記号の関係を身につけていく。一方、外国語の初心者はずうではない。初心者の努力はもっぱら、母語と外国語との対応関係を暗記することにそがれる。つまり、外国語の初心者は、表向き外国語をつかっているように見えても、実はそれを頭のなかで翻訳し、母語の概念をもとに思考しているのである。だから外国語学習の場合、母語とちがって、家族や仲間内ではしか通用しない^(注4)ジャーゴンを創りだしたりはできない。「それは日本人のよくやる誤りです」とネイティブに言われればそれまでだ。外国語の知識はあくまで「所与の知」なのである（もちろん、外国語に熟達してくれば話はちがってくるのだが）。

「所与の知」は、外国語の知識だけにかぎらない。当然ながら、いわゆる専門知の大半は、このなかに含まれる。たとえば、自分では不法行為だと感じたとしても、法律家ではない普通の人は、法律の条文の専門的解釈がおかしいとは思わない。異議をとえられるのは、裁判官や法学者だけなのだ。実はネットのなかにあふれる知識命題のうちかなりの部分は、こういった専門知なのである。

だが、時代は変わり、すでに裁判員制度も導入されている。受け身の発想にとらえられているかぎり、集合知の可能性は限られてしまう。もし専門知^Gにかわる集合知という新たな知の枠組みを本気でもとめるなら、単にネットから所与の知識命題をあつめてくればよいというわけにはいかない。誰しもが、知の構築という困難な作業と向き合わなくてはならなくなるのである。

（西垣通の文章による。ただし、一部変更した。）

（注） 1 新自由主義 … 経済を市場原理および自由競争にゆだねる考え方。大企業や富裕層が富を得ることで、結果的に中間層・貧困層の所得も上がるととらえる。

2 マルキシズム … ドイツの思想家カール・マルクス（一八一八—一八八三）らによって確立された、政治・経済など広範にわたる社会主義思想体系。マルクス主義。

3 リーマンショック … 米国の大手投資銀行・証券会社リーマン・ブラザーズの経営破綻に伴い、世界の金融市場と経済が危機に直面した事件。

4 ジャーゴン … 特定グループ内でのみ通じる用語。

問1 空欄〔 a 〕〔 c 〕に入れるのに最も適切な語句を、次の①～⑤の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

解答番号は

1

3

a

1

① または

② あるいは

③ しかし

④ にもかかわらず

⑤ なるほど

b

2

① ところで

② たしかに

③ 要するに

④ だが

⑤ にもかかわらず

c

3

① かえって

② しかし

③ だから

④ あるいは

⑤ ところで

問2 破線部ア「懐古」・イ「託宣」の本文中の意味として最も適切なものを、次の①～⑤の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。解答番号は 4 ・ 5。

ア 「懐古」

4

- ① 考え方が時代の傾向に合っていないこと
- ② 大事な点をはずして見当違いなこと
- ③ もう役に立たなくなつたものに心をひかれること
- ④ 昔のことをなつかしく思うこと
- ⑤ 旧来の考え方を守っていこうとすること

イ 「託宣」

5

- ① ありがたい仰せごと
- ② 神に奏することば
- ③ 高圧的な物言い
- ④ 目に見えない存在
- ⑤ 唯一無二の真実

問3

波線部(A)「こういう『知識社会』ないし『情報社会』のとらえ方」とあるが、ここでいう「『知識社会』ないし『情報社会』」とはどのようなものであるか。その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

号は

6

。

- ① 物よりも物についての情報を持つことが重要であり、そうした情報の体系には誰もがアクセス可能で、人間の知識が情報よりも下位にとらえられている社会。
- ② 知識が資本の源泉であり、商人や事業者は主にそうした知識の交換によって利益を得ており、そうした利益追求が自由な競争へと開かれている社会。
- ③ 具体物をデータや数値に還元した情報を体系的にまとめあげたものが知識であり、そうした知識は誰もがネットで手に入れることができるにとらえられている社会。
- ④ 各企業を評価する際に、正確なデータを何らかの基準で判断することでその企業の将来性が判断でき、そのような知識を持つ人が権力を握っている社会。
- ⑤ 情報の透明性が何より重視され、知識がネットで特定の人々に開かれ、そうした情報や知識のあり方を第三者による外部評価委員会が監視している社会。

問4

波線部(B)「生命体としての人間の活動における知の役割というものを、根本的などころでとらえ損なっている」とあるが、なぜ「とらえ損なっている」といえるのか。その理由として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

7

。

- ① 市場原理に基づいてすべてをデータ化して得られる知は、生命をもって生きている人間の知とは全く別のものであり、そうした誤解がこれまで多くの危機を生み出してきたから。
- ② 一見客観的な評価書類の内容を過信することは、世の中の事象に対する一つの解釈を絶対視することにはかならず、人間の知の本質を十分にとらえた見方とは言いがたいから。
- ③ 知とは、評価書類で得られるような客観的なデータを分析し、さまざまな角度から解釈を加える高度な精神のことであるのに、データそのものが「知」と考えられているから。
- ④ 生命体としての人間はしばしば誤ることがあるのにもかかわらず、情報を絶対視する「知」のとらえ方では、こうした人間的な誤りの可能性を排除してしまうから。
- ⑤ リーマンショックを引き起こしたのは、経済に関する「知」を総合的に把握していた人たちであり、そうした人たちを批判的にとらえ直すことこそ、「知」の本当の役割だから。

問5 波線部(C)「歪んだ資料」とあるが、なぜ筆者はこのような表現をしているのか。その理由として最も適切なものを、次の

①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

8。

- ① 信用するに値しないレベルのビジネスに、都合のよいデータや数値でお墨付きを与えてしまったと考えているから。
- ② 優秀な格付け会社が正しいと信じて行った分析や評価が、あからさまな違法行為につながったと考えているから。
- ③ 自分の家を持ちたいという労働者の欲求の動向を見誤り、市場規模に合わない金融商品に不適切な評価を下したと考えるているから。
- ④ 正当に行われた格付け会社の評価が、結果として世界中に恐ろしい地球規模の金融危機を引き起こしたと考えているから。
- ⑤ 米国中の証券会社が利益を得るために、格付け会社に依頼して実際の価値と異なる格付けをしてもらったと考えているから。

問6 波線部D「グローバル・ビジネス推進派から守旧派扱いされる」とあるが、これはどういうことか。その説明として最も

適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

9。

- ① 外部評価がそなえる権威主義的な側面に対して警鐘をならす筆者の主張は、外部評価などの制度を整備してきた人たちから見れば、自分たちの権威や地位を真つ向から否定する危険な思考としてとらえられかねないということ。
- ② マルキシズムに基づく計画経済の効能を重く見る筆者の主張は、自由競争が推進されることで経済が発展してきたと考えている人たちにとって、一部のエリートが抽象的な理論に基づいて展開している古い議論だととらえられるということ。
- ③ 米国流の外部評価システムを否定する筆者の主張は、公正な評価作業を行うことで住宅ローンを証券化した商品に価値を見いだした人たちからすれば、ただ一つの例をもって金融市場の現代的な発展へ疑いをさしはさむ、偏った見方だと思われるということ。
- ④ 知識社会や情報社会に対して疑いの目を向ける筆者の主張は、米国流の市場主義を信奉する人たちから見れば、戦前の日本経済や企業におけるムラ社会的な内部規律を重視する姿勢を復活させかねない、遅れた思考だととらえられるということ。
- ⑤ 情報公開や外部評価の効用に一定の留保を行う筆者の主張は、グローバル経済における自由競争を旨とする人たちからは、現代における開かれた市場主義を否定する古い型の思考だと見られかねないということ。

問7

空欄

X

に入れるのに最も適切な語句を、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

10

。

- ① 胸先三寸
- ② 一蓮托生いちれんたくしよう
- ③ 同床異夢
- ④ 五十歩百歩
- ⑤ 朝令暮改

問 8

波線部(E)「知識命題とは、それを学校で習おうとネットから検索してこようと、所詮は誰かがおこなった一種の解釈にすぎない」とあるが、これはどういうことか。その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

11。

- ① 世界に関する客観的な知に見えるものは、その情報源がどこであれ、絶対的な真実などではなく、特定の誰かが一定の視点や根拠をもとに下した判断でしかないということ。
- ② 世界をより深く知るために積み重ねられた知は、ある人たちがそれが存在すると解釈したために生じるものであり、本当にそうした知があるかどうかということは誰にもわからないということ。
- ③ 世界に関する知識は、誰かが世界がこうであると解釈したことに關するデータを集成したものであり、それらは最終的には数値などの客観的な指標へと還元できるものだということ。
- ④ 学校やネットから得てくる知は、不特定多数の誰かが世界に対して下した解釈に他ならないものであり、そのような知識を積み重ね、いくら能動的に選び考えたところで、この世界に対する知は深まらないということ。
- ⑤ 私たちが世界を知る際に本当に重要なのは、自分が生きていく上で大切な知とは何かをその人自身が選択することであり、そうした知そのものに対する解釈こそが世界を知ることにつながるということ。

問9 波線部(F)「近年の若い学生たち」について、筆者はどのようにとらえているか。その説明として最も適切なものを、次の

①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

12。

- ① 自分たちで主体的にものを思考する力を全く持たず、与えられた知をコピー&ペーストする姿勢に終始しており、時代の知に対する考え方を体現している。
- ② モバイル機器やネットを活用することを得意としている一方で、答えがない問いに立ち向かうことを苦手とし、そうした問いが与えられると思考を完全に放棄してしまう。
- ③ 既存の権威ある知識体系をわかりやすく教えられてきたために、わかりやすく考えられる問いにしか答えることができないが、そうした知しか彼らの生には必要がない状況である。
- ④ 大人たちによって、効率のよい知識命題の処理こそが生きる術すべであることを教え込まれており、そうした価値観を脱して真の意味での知に到達することができない。
- ⑤ 主体的な知を獲得する潜在的な能力はあるものの、既存の知識体系の効率的処理が大事だと大人たちに教えられてきたため、所与の知を重視しがちである。

問10

波線部G「専門知にかわる集合知という新たな知の枠組み」とあるが、筆者はこの「新たな知の枠組み」をどのようなものとしてとらえているか。その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

13。

- ① 専門家ではない一般的な人々が構築する知というものが生まれるためには、専門家の意見に対して大衆が疑問を投げかけ、それに対して専門家が応答していく、双方向的な対話の姿勢が必要である。
- ② 外国語学習のような所与の知とは異なる知が作り出されるためには、母語を学ぶ時のように、さまざまに試みる中で自分なりの情報や知識の創造を繰り返していくことが重要であり、知識を外から与えられることで満足してはいけない。
- ③ 多数の人たちが集まることで生まれる、専門知とは異なる知がありうるとするならば、それは社会の一人一人の人間が、既存の知識体系を疑い、自身の体験や思考に基づいて知を練り上げていくことを通して得られるものである。
- ④ 専門家の知識にとどまらない知を作り出すためには、裁判員のように素人がお互いの意見を出し合うことが必要であり、そうした意見を最終的に統合していくことで、一人の知恵にとどまらない集団的な知が生み出される。
- ⑤ 集合知を生み出すためには、世の中の事象を解釈することが必要であり、なるべく多くの情報を集めてそれを集団で分析することで、与えられた一次的な情報にとどまらない、深く広がりがある集合知が創造される。

問11 二重傍線部(イ)～(ホ)の漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。解答

番号は 14 ～ 18。

(イ) チョウリュウ

14

- ① ジチョウを込めて語る
- ② ボウチョウ席に座る
- ③ 勢いがサイコウチョウに達する
- ④ チョウシゼンの現象に遭遇する
- ⑤ チョウカイ免職の処分が下る

(ロ) ソンチョウ

15

- ① カンソンの景色を眺める
- ② フソンな態度で接する
- ③ ソンダイな言葉を浴びせる
- ④ シソンの繁栄を願う
- ⑤ 相手の名誉をキソンする

(ハ) サイケン

16

- ① 拍手カッサイで迎えられる
- ② コクサイを発行する
- ③ 俳優の演技がコウサイを放つ
- ④ 議員のサイヒが公表される
- ⑤ 大会を二つの国で同時カイサイする

(ニ) ヘイガイ

17

- ① 市役所に図書館をヘイセツする
- ② 光が入らないようシャヘイする
- ③ 相反する主張がヘイリツする
- ④ その言い方にはゴヘイがある
- ⑤ 新しいシヘイを発行する

(ホ) サクゴ

18

- ① 思惑がコウサクする
- ② アツサクした空気を送り込む
- ③ ボウゴサクを設置する
- ④ 地面をクツサクする
- ⑤ サクボウを巡らせる

第2問 次の文章を読んで、後の問い（問1～7）に答えなさい。

ひとりぼっちのハリネズミが手紙を書いた。ゾウやカメ、モグラたちのことを考えながら。「親愛なるどうぶつたちへ ぼくの家にあそびに来るよう、キミたちみんなを招待します」。そして付け加えた。「でも、だれも来なくてもだいじょうぶです」。

誰かに訪ねてきてほしい。でも本当は、会うのが怖い。そんなふうに考えが行きつ戻りつするのがテレヘン著『ハリネズミの願い』の主人公である。書いた手紙を出さないまま、動物たちが来たらどうなるか、家に閉じこもって想像を続ける。

彼の心配は、尖ったハリがみんなに嫌がられることだ。ハリが比喻するものは、誰かを傷つけるかもしれない自分の性格か。あるいは誰からも傷つけられたくないという防御の姿勢か。ハリネズミの孤独は、意外とありふれたものかもしれない。

（ロ）きょう成人の日に書くには、Xな話か。しかし子どもから大人になる時期は、親元から離れたり仕事に就いたり、ひとりになる時間が増える。孤独とうまく付き合うやり方を手にする道のりでもある。

孤独の象徴として「心の殻」という言葉が使われる。多くの場合、破るべき、壊すべきものとして。しかし、つらいときに逃げ込める小さな殻は、持っておいた方がいい。無心になれる音楽でも、繰り返し読んだマンガでもいい。いつでも閉じて、聞くことのできる柔らかい殻を。

ハリネズミの物語はどうなるかって？ 心配なくていい。彼の心の殻も最後には、柔らかく開くことになる。

『朝日新聞』二〇一九年一月一四日 「天声人語」による

問1 破線部ア「手紙」とあるが、「手紙」が重要な要素となっている日本近代の文学作品およびその作家の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

19。

- ① 『山椒魚』 | 井伏鱒二
- ② 『蜘蛛の糸』 | 芥川龍之介
- ③ 『城の崎にて』 | 川端康成
- ④ 『斜陽』 | 志賀直哉
- ⑤ 『こころ』 | 夏目漱石

問2

波線部(A)「でも、だれも来なくてもだいじょうぶです」とあるが、本文の内容を踏まえた時、「ハリネズミ」がこのように付け加えた理由として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

20

- ① 来客があまりに多すぎると、招待の準備が大変になるため。
- ② 誘われた動物たちが、遠慮せず気軽に断れるようにするため。
- ③ これまで通りひとりぼっちであるのも、決して嫌いではなかったため。
- ④ 自分の体のハリがみんなに嫌がられないかが、気がかりだったため。
- ⑤ 招待を断られるのが怖いという気持ちを、さとられないようにするため。

問3 破線部イ「行きつ戻りつ」とあるが、この語句の表すところに近い表現として最も適切なものを、次の①～⑤の中から

選び、記号で答えなさい。解答番号は 21。

- ① 来し方行く末
- ② 差しつ差されつ
- ③ 七転八倒
- ④ 堂々巡り
- ⑤ 持ちつ持たれつ

問4 破線部ウ「比喩」とあるが、次の文に用いられている比喩の技法として最も適切なものを、後の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

22

人間は考える葦のようなものだ。

- ① 直喩法
- ② 隠喩法
- ③ 換喩法
- ④ 提喩法
- ⑤ 擬人法

問5

空欄

X

に入れるのに最も適切な語句を、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

23

。

- ① 手違い
- ② 場違い
- ③ 間違い
- ④ 勘違い
- ⑤ 畑違い

問 6

本文の主旨として最も適切なものを、次の①～⑤の中から選び、記号で答えなさい。解答番号は

24。

- ① 自分で思っているほど、自分に対して興味を持っている人は実は多くはないのだから、他者との関わりを必要以上に恐れなくてよい。
- ② 人はみな、傷つき傷つけられることを恐れる孤独な存在なのであり、とりたてて自分だけが苦しんでいると思うのはおかしいことである。
- ③ 社会人は学生と違って孤独な時間を過ごすことが多くなるので、大人になる過程で孤独とうまく付き合うやり方を知っていく必要がある。
- ④ 孤独は必ずしも悪いものではないと認識し、自分の状態に応じて孤独になる自由を確保しながら、臨機応変にコミュニケーションをはかるとよい。
- ⑤ 孤独でかたくなな心の持ち主も、周囲の者の温かさに触れることで心を開くのだから、まずはコミュニケーションを試みることが重要である。

問7 二重傍線部(イ)～(ホ)の品詞名を、後の①～⑧の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。解答番号は 25 } 29。

(イ) 訪ねてきてほしい

25

(ロ) きょう成人の日に

26

(ハ) 言葉が使われる

27

(ニ) 開くことのできる

28

(ホ) どうなるか？

29

① 名詞

② 動詞

③ 形容詞

④ 連体詞

⑤ 副詞

⑥ 接続詞

⑦ 助詞

⑧ 助動詞

◆ 写 真 提 供 等 ◆

2021年度奨学生入学試験【国語】

『朝日新聞』2019年1月14日「天声人語」

承諾書番号 21-1812

※上記記事に関して朝日新聞社に無断で転載することを禁じます。